

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月5日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久米 敦司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,928	2.7	1,256	△21.2	1,327	△20.4	907	△22.3
2019年3月期第1四半期	8,692	—	1,595	—	1,668	—	1,168	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 756百万円 (△40.4%) 2019年3月期第1四半期 1,269百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	98.69	—
2019年3月期第1四半期	127.07	—

(注) 当社は2018年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	33,675	26,162	77.7
2019年3月期	36,237	26,511	73.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,162百万円 2019年3月期 26,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	3.4	1,800	△38.0	1,800	△40.6	1,260	△39.9	136.96
通期	35,000	1.8	2,600	△38.1	2,600	△41.3	1,800	△38.9	195.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	9,400,000株	2019年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	200,279株	2019年3月期	200,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	9,199,721株	2019年3月期1Q	9,199,674株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2020年3月期第1四半期 14,953株、2019年3月期 14,953株、2019年3月期第1四半期 一株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国景気の減速等により輸出が停滞した他、個人消費への影響が懸念される消費税率の引き上げが10月に控え、今後の不透明感が増す状況にありました。また、世界経済は、米中貿易摩擦の激化による各国経済への影響が表面化する中、他方で英国のEU離脱問題等もあり、不確実性の高い状況が続いております。

食品業界におきましては、人口減少傾向により、国内市場の拡大が困難となる中で、差別化によるマーケットシェアの確保、海外市場の開拓、新たな付加価値の創出や継続的な安全性確保等への対応が求められています。

このような状況下、当社グループは、顧客ニーズや用途多様性に着目した製品ラインナップによる販促を行う他、ごま原料相場の高騰に伴う原料価格に見合った販売価格の是正に注力しました。

ごま油におきましては、前期2月から取り組む業務用製品を対象とした値上げの影響等により、業務用の販売数量は前年同期に比べ減少しております。しかしながら、家庭用における大型連休中の順調な販売の推移や7月に予定する値上げ前の需要発生等の他、輸出用における販促キャンペーンの実施等もあり、ごま油全体の販売数量は前年同期比100.3%となりました。

食品ごまにおきましては、家庭用が好調に推移しましたが、業務用が値上げの影響等により落ち込み、食品ごま全体の販売数量は前年同期比96.7%となりました。

一方、コスト面では、原料代が大幅に増加した他、当期中に稼働予定の袖ヶ浦工場人員の増等に伴う人件費の増加や、家庭用の販売数量増に伴う販売促進費の増加等により、売上原価は前年同期比109.7%、販売費及び一般管理費は前年同期比105.1%となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,928百万円(前年同期比236百万円増)、経常利益は1,327百万円(前年同期比340百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は907百万円(前年同期比261百万円減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、大型連休中の販売も底堅く、自社ブランド製品であるNB製品を中心として、好調に推移した他、7月に予定する値上げ前の需要もあり、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ増加しております。

一方で、業務用は、前期2月から取り組む値上げの影響等により、一部の加工ユーザーや外食産業向けで使用量の減少や他社への切り替えが生じる等、販売数量は前年同期に比べ減少しております。また、値上げにより業務用全体の販売単価は上昇しておりますが、販売数量の減少の影響が大きく、販売金額も前年同期に比べ減少しております。

なお、輸出用は、販促キャンペーンの実施や為替レートの影響等により、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ増加しております。

コスト面では、既存設備の耐用年数の経過に伴う減価償却負担の減少等あったものの、原料代が大幅に増加した他、袖ヶ浦工場に従事予定の人員増等に伴う人件費の増加により、売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費も、家庭用の販売数量増に伴う販売促進費増等により、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は6,617百万円(前年同期比233百万円増)、セグメント利益は985百万円(前年同期比270百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、食品ごまは、業務用の値上げ等に伴う販売数量の落ち込みにより、食品ごま全体の販売数量が前年同期に比べ減少しましたが、家庭用の販売では自社ブランド製品であるNB製品及び相手方ブランド製品であるPB製品いずれも好調であったことや、業務用の値上げも寄与し、食品ごま全体の販売金額は前年同期に比べ増加しました。ねりごまにつきましては、家庭用は好調であったものの、業務用の販売が落ち込み、ねりごま全体の販売数量及び販売金額は前年同期に比べ減少しました。

一方、コスト面では、原料価格の上昇や更新設備の減価償却負担の増等により売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は販売費の減少等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は2,291百万円(前年同期比6百万円減)、セグメント利益は260百万円(前年同期比73百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,561百万円減少しました。これはたな卸資産が1,291百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が4,047百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,212百万円減少しました。これは未払金が1,782百万円、未払法人税等が379百万円、賞与引当金が211百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ348百万円減少しました。これはその他有価証券評価差額金が114百万円、繰延ヘッジ損益が36百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益907百万円計上と配当金の支払い1,105百万円の加減算により利益剰余金が197百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,655	1,607
受取手形及び売掛金	7,715	8,133
商品及び製品	1,503	1,634
仕掛品	804	893
原材料及び貯蔵品	4,212	5,282
その他	686	678
流動資産合計	20,577	18,229
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	5,576	5,583
その他	6,982	6,928
有形固定資産合計	12,559	12,511
無形固定資産	254	279
投資その他の資産	2,846	2,655
固定資産合計	15,660	15,446
資産合計	36,237	33,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,139	3,213
未払法人税等	743	363
賞与引当金	352	140
役員賞与引当金	193	23
その他	3,504	1,948
流動負債合計	7,932	5,690
固定負債		
退職給付に係る負債	1,482	1,509
役員株式給付引当金	9	12
資産除去債務	54	54
その他	246	246
固定負債合計	1,793	1,823
負債合計	9,725	7,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	21,902	21,705
自己株式	△1,380	△1,380
株主資本合計	25,749	25,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	747	632
繰延ヘッジ損益	14	△21
その他の包括利益累計額合計	762	610
純資産合計	26,511	26,162
負債純資産合計	36,237	33,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,692	8,928
売上原価	4,618	5,066
売上総利益	4,074	3,862
販売費及び一般管理費	2,479	2,605
営業利益	1,595	1,256
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	14
為替差益	67	35
受取保険金	—	21
雑収入	4	3
営業外収益合計	84	74
営業外費用		
支払手数料	2	2
雑損失	0	1
補助金返還損	8	—
営業外費用合計	11	3
経常利益	1,668	1,327
特別利益		
固定資産売却益	60	6
特別利益合計	60	6
特別損失		
固定資産除売却損	7	3
特別損失合計	7	3
税金等調整前四半期純利益	1,721	1,330
法人税、住民税及び事業税	449	337
法人税等調整額	103	85
法人税等合計	552	422
四半期純利益	1,168	907
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,168	907

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,168	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	△114
繰延ヘッジ損益	33	△36
その他の包括利益合計	100	△151
四半期包括利益	1,269	756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,269	756
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,721	1,330
減価償却費	185	186
賞与引当金の増減額(△は減少)	△269	△211
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△221	△170
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	27
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△15
受取保険金	—	△21
支払手数料	2	2
為替差損益(△は益)	△16	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	△52	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△175	△417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155	△1,291
その他の資産の増減額(△は増加)	20	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	275	21
その他の負債の増減額(△は減少)	△49	△307
小計	1,265	△877
利息及び配当金の受取額	73	15
支払手数料の支払額	△2	△4
保険金の受取額	—	21
法人税等の支払額	△1,179	△627
営業活動によるキャッシュ・フロー	156	△1,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
有形固定資産の取得による支出	△485	△1,633
無形固定資産の取得による支出	△87	△19
有形固定資産の除却による支出	△5	△8
有形固定資産の売却による収入	123	6
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△9	△8
保険積立金の解約による収入	—	17
その他	△7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472	△1,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,148	△925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,149	△925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,465	△4,047
現金及び現金同等物の期首残高	11,007	5,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,541	1,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,383	2,297	8,681	10	8,692
計	6,383	2,297	8,681	10	8,692
セグメント利益	1,256	333	1,589	5	1,595

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,589
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,595

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,617	2,291	8,908	20	8,928
計	6,617	2,291	8,908	20	8,928
セグメント利益	985	260	1,246	10	1,256

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,246
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	1,256

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2019年5月22日開催の取締役会において、運転資金を用途として、資金の借入を行うことを決議し、下記のとおり、実行しております。

借入の概要

(1) 借入先の名称	株式会社みずほ銀行
(2) 借入金額	2,000百万円
(3) 借入条件	固定金利
(4) 借入の実施時期	2019年7月1日
(5) 借入の返済期限	2019年9月30日
(6) 担保提供資産	なし